

航空業界の仕事

航空機の運航にはさまざまな職種・業種の人々が携わっています。機体の整備はもちろん、運航をサポートするいくつかの業務、空港内の業務を行うエアポートスタッフがお客様の安全で快適な空の旅を実現するために、日々努力を重ねています。

機内清掃

次のフライトまでの機内のクリーニングと点検、冊子類のセッティングを行います。お客様が快適な空の旅を過ごしていただけるように制限時間内でチームワークよく作業を行います。

ブレーキマン

空港内で航空機を航空機牽引車で移動する際、航空機の操縦席に座り、電気・油圧系統の監視を行いながら、移動時のブレーキ解除や、停止時の確実なブレーキングを行います。

給油

フライトに欠かせない燃料補給。フライト間の短い制限時間内に資格を持ったグラウンドハンドリングスタッフが厳しい安全基準に基づき、迅速かつ確実に給油作業を行います。

ケータリング

機内食や飲み物などの機内サービス用品を搭載する業務です。免税品などの機内販売用品もあり、それら商品に関する複雑な業務も行っています。

パイロット

国内線や国際線の定期路線のフライトを司るエアラインパイロット。近年では旅客機もハイテク機が主流となり、デジタル化された機体システムへの広く詳しい知識も要求されます。

ライン整備 (機体整備)

航空機が到着してから出発するまでの間に、空港内で機体の点検・整備を行います。限られた時間内で、迅速かつ確実に仕上げる高度な技術が求められます。

パッセンジャーステップ

旅客機のドアとゲートを結ぶ移動式ブリッジの運転作業を行います。モニターで動きを見ながら、降機を待つお客様のために、速やかにかつ機体を損傷することがないように慎重に装着します。

ドック整備 (機体整備)

航空機は決められた飛行時間ごとに、格納庫で本格的な整備をします。点検・整備の内容は整備間隔や飛行回数・時間、また航空機の機種ごとに細かく定められています。

貨物の搭降載

手荷物・航空貨物・郵便物をハイリフト・ローダーやベルト・ローダーで取り降ろし、搭載します。航空機の安全運航、定時性を維持するためのスタッフのチームワークが求められる業務です。

ロードプランナー

航空機内のバランス、着陸地での迅速な取り扱いを考慮し最適な貨物搭載プランを組み立てます。貨物室では、この搭載プランに基づき貨物を定められたポジションに搭載します。

チョークマン

到着した航空機のタイヤを、チョーク(タイヤ止め)を使って安全に機体を駐機させます。出発の際にも機体自体が自走できる場所までついて行き、安全を確認して見送ります。

マーシャラー

バドルと呼ばれる道具で操縦席のパイロットに合図を送り誘導・停止を指示します。正確な位置に停止しなければ、ボーディングブリッジや燃料供給ができなくなります。

プッシュバック

航空機は自力でバックができません。出発時には航空機牽引車を操り、プッシュバックで航空機が自走できるようになる所定の位置まで押し出します。

ショップ整備

航空機から取り外したエンジンや電子機器の点検・修理を行う整備です。各分野に特化した専門性が要求されます。

ヘリコプター整備

飛行に備えて行う飛行前点検および飛行終了後の点検、そして飛行の安全を確保するための重整備、時間点検等があります。ヘリコプターは、1機すべてを任される場合が多いのが特徴です。

グラウンドスタッフ (接客業務)

カウンターでの航空券の発券、手荷物を含むチェックイン、搭乗口でのゲートサービス等空港における接客業務全般を行います。お客さまや仲間へ寄り添い、臨機応変な対応が求められます。

グラウンドスタッフ (オペレーション)

空港内のオフィスで飛行機が安全かつ定時に出発・到着するための運航に関わる調整業務を行います。国際線では他国の入国管理局とやりとりをすることもあり、英語力が求められます。

運航管理者 (ディスパッチャー)

目的地空港までの経路、高度や燃料量を含む飛行実施計画を作成し、機長と打ち合わせをします。飛行中も運航を監視し、安全運航をサポート。国土交通省が定める資格の取得が必要です。